

# 「プリンティングソリューション特集」によせて



株式会社沖データ  
代表取締役社長

杉本 晴重

OKIグループにおいてプリンタ事業を担うOKIデータを  
取り巻く市場環境は、下記のような状況にあると言えます。

- 新興国市場は落ち込みが大きいですが急回復
- SFP(Single Function Printer)からMFP(Multi Function Printer)へのシフト
- MPS(Managed Print Service)の増加、環境対応の必要性増加

これは先進国とSFP(特にカラー)を事業の中心としてきた当社にとって新たなビジネス機会であり、この機会を生かすべく中国・ロシア・中南米を始めとする新興国の販売強化と環境対応の技術開発、新たな顧客要求に応える商品開発に取り組んでおります。

## OKIデータの事業方針と商品力強化

当社の2009年中期経営計画では、「安定した収益構造への事業体質転換」を事業方針にMFP商品強化、新興国市場での販売拡大、MPSビジネス強化、コスト競争力強化を主要施策としていますが、基本戦略は商品力強化です。

プリンタの市場拡大に伴い、特にオフィス向けプリンタはコモディティ化が進み、機能、性能差による訴求が難しく、価格競争が厳しくなっています。

このような市況の中では、印刷スピード、画質といった基本仕様だけでなく、ターゲット市場・ユーザーの生のニーズをとらえた、他社との違いをアピールできる商品を企画・開発することが求められています。

当社で永年開発してきた、LEDヘッドをベースとしたプリンタの持つ特長である、小型、省電力、安定性、長寿命、高画質などを顧客価値に生かすべく、近年はエコ・コンパクト・ハイパフォーマンスと言う分かりやすく明確なコンセプトで、商品を市場にアピールしています。

特にオフィス環境を考慮したデザイン、使い勝手にも配慮し、高信頼性・長寿命訴求のため、日本国内では2008年には新ブランド「COREFIDOシリーズ」を立ち上

げ、5年間無償保証を提供して他社との違いを明確にしています。

従来、当社はLEDヘッドの特長を最大に生かせるカラーSFPに注力してきましたが、商品の品揃え強化と市場変化への対応として、市場規模の大きいモノクロ、伸長の大きいMFPの品揃え強化を近年進めています。

これら商品の開発に当たっては、お客様にコストパフォーマンスの高い、使いやすいプリンタを提供するため、部品やソフトウェアのプラットフォーム化、新規なシミュレーション技術の活用範囲拡大、開発設計と生産部門が早期から協力するコンカレント設計などを鋭意推進しています。

今後の主力と期待されるMFPは、事務機であるコピー機と技術的に大きな差がありませんが、後発である当社としては対コピー機で保守性に優れるプリンタの特長を生かし、MPS・ソリューションへの展開を狙った商品作り、品揃えを考えています。

すなわちMFPはSFPと比較してソフトウェアの比重が格段に高く、機能も多いので、使いやすいユーザーインタフェースを用意するだけでなく、オフィス環境でのシステム化がしやすく、また将来の拡張が容易であることを商品戦略に位置づけ、商品と商品ラインアップを揃えています。

オフィス向け以外の用途としては、DTP、POPそしてグラフィックアート(GA)などの業務用、プロフェッショナル用のプリンタとして当社のLEDプリンタは実績を上げてきています。これらの市場は、LEDヘッド技術の特長を生かしたブランドを高めて、フラッグシップとなりえる特長ある製品を創出していきます。

## MPS(Managed Print Service)

プリンタビジネスは、プリンタ本体と消耗品をお客様に売るという売り切り型のビジネスモデルが主体で発展

してきました。しかし、近年、物からサービスへ、またコストを重視するというユーザー志向が進み、事務機ビジネスと同様のプリント・コピーサービスを提供する、いわゆるMPSビジネスが盛んになってきました。MPSビジネスモデルでは、製品のMPS対応は勿論ですが、プリンタの使用状況・消耗品の充足状況のモニター、アセスメントなどシステム・ソリューション力と消耗品供給・課金・お客様情報管理サービス・サポートなどビジネスインフラの提案・構築が必要になります。

当社では数年前からグローバルなプロジェクト体制を作って積極的に取り組んできましたが、2010年度からは専門の組織を立上げ、MPS向け機能・性能の商品への織り込み、関連ソフトの評価・統一、ビジネスインフラ構築の支援を拡充しています。また、グローバルな実績・経験・ユーザー要望の共有とその水平展開等を進めていきます。

### 技術開発と環境対応

プリンタはヘッド、ID(イメージドラム)、定着、メカを始めとする個々の機能部品と画像処理、制御用のASICとそのソフトから構成されるいわゆる摺り合わせ商品ですが、近年の半導体、ソフトウェア技術、新材料の進歩で大きく変わってきています。

特に小型化、省エネ化、省電力化そして長寿命化、高信頼性化において顕著であり、当社のLEDプリンタでもその特長を最大化するように技術開発を進めています。

当社は30年以上にわたりLEDヘッド技術開発に拘り、LEDプリンタのパイオニアとしての地位を確立してきました。

最新の第4世代LEDヘッドは、「エピフィルムボンディング(EFB)技術」とLED電流駆動素子の小型化により更なる高集積を実現し、従来品に比べて、より小型・低コストを実現しています。4月から稼働を開始した高崎の

LED新工場で生産し、6月から出荷開始したA4カラーSFP、A4モノクロSFPに既に採用されています。

元々LEDヘッドは半導体部品で構成されているため、省エネ・省電力で信頼性も高いのですが、ヘッド以外にも、制御LSIと電源の新規開発により、待機時間の電力を大幅に削減し、業界トップクラスの省電力を実現しました。

資源のリサイクル・リユースに関しては、トナーカートリッジの回収に加え、回収したトナーカートリッジにトナーを充填したリサイクルトナーカートリッジ販売の展開をスタートさせました。

今後もID、ドラム、ローラなどの機能部品の長寿命化や更なる省資源、省電力技術の開発、稼働時の動作音の低減など、エコ技術開発を通して環境に優しい商品の提供とCO<sub>2</sub>削減に貢献したいと考えています。環境に優しい商品開発以外にも、生産・SCMに関しても改革プロジェクトを作ってグローバルな業務改革、コスト改革、環境対策に取り組んでいます。

省電力設計を取り入れたUK工場での全面的グリーンエネルギーの採用、中国・タイ両工場での省エネ・省電力活動、物流見直しによる運搬ルートの短縮、在庫スペースの削減などを実現しています。グリーン調達も推進しています。

### あ と が き

プリンタビジネスを取り巻く環境は劇的に変わりつつあります。今後はオフィスの電子化、ペーパーレス化が進む一方、ドキュメントマネジメントなど業務の高度化・効率化を推進するシステム連携への展開も期待されます。このようなプリンタ・MFPに対する要求・期待も変わっていく中で、今後も市場変化とお客様の要求に応える商品、サービス創出とそれを支える技術開発を強化していきたいと考えています。◆◆